



平成27年3月24日
海上保安庁

海洋速報のウェブサイトをリニューアル！

～黒潮データの利用が簡単・便利に～

海上保安庁は、月に30万件アクセスがある「海洋速報&海流推測図」のウェブサイトデザインを、利用者のニーズに合わせて全面的にリニューアルしました。

ニューコンテンツとして、黒潮や対馬暖流等の海流データ（GISデータ）の提供を始めたことから、GIS対応の衛星水温画像等に海流を重畳できるようになり、主に海洋の現況把握、学術的な利用、漁業への利用が期待されています。さらに、59年分の「海洋速報」を一挙公開！過去から現在に至るまでの海流の変化を辿ることができます。

海上保安庁海洋情報部では、「海洋速報&海流推測図」のウェブサイトを活用し日本周辺の海流や水温情報の提供を行っています。「海洋速報&海流推測図」は1ヶ月平均で約30万件のアクセスがあり、海洋情報部のホームページの中でもニーズの高いウェブサイトです。

平成27年3月24日、より使いやすく便利なウェブサイトを目指して「海洋速報&海流推測図」のウェブサイトをリニューアルしました。

海洋速報&海流推測図：<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/KAIYO/qboc/index.html>

リニューアルのポイント

★デザインの一新（図1）

これまでのウェブサイトは文字情報が多く、情報が見つけやすいとは言えないデザインでした。今回、多くの文字情報を画像に置き換えたことで、ウェブサイト上で提供している情報が一目でわかるようになりました。

★黒潮データの利用が簡単・便利に（図2）

これまでは、日本地図と黒潮等の海流を一体にした画像で提供してきました。今回、より幅広く利用していただくことを目指して、海流だけを抜き出したデータ（GISデータ）をダウンロードできるようにしました。

※GISソフトを利用すると、GIS対応の衛星水温画像等に海流を重畳できます。

★「海洋速報」のバックナンバーの提供開始（図3）

「バックナンバー」にアクセスすると、昭和31年から現在に至るまでの「海洋速報」を閲覧することができます。



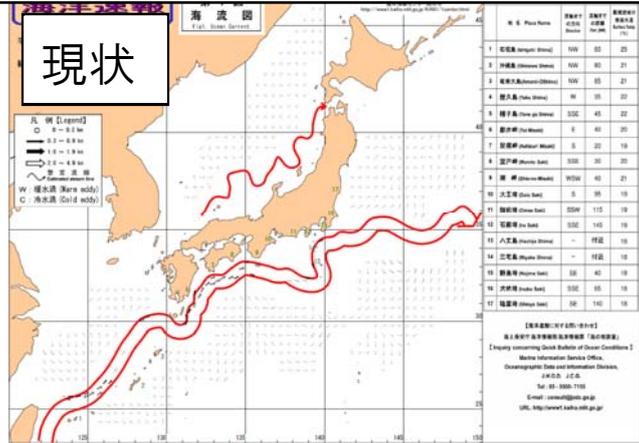
海流データのダウンロード (図2)

海洋速報のバックナンバー (図3)

提供情報の多くを画像で表現しました。画像のクリックで各種図の閲覧が可能です。

図1 新旧デザイン

「海洋速報&海流推測図」ウェブサイトで平日提供している「海洋速報海流図」に赤線で日本周辺の海流（黒潮と対馬暖流。時期によっては津軽暖流と宗谷暖流を追加）を模式的に示している。



「流軸数値・GIS情報」から海流データをダウンロード

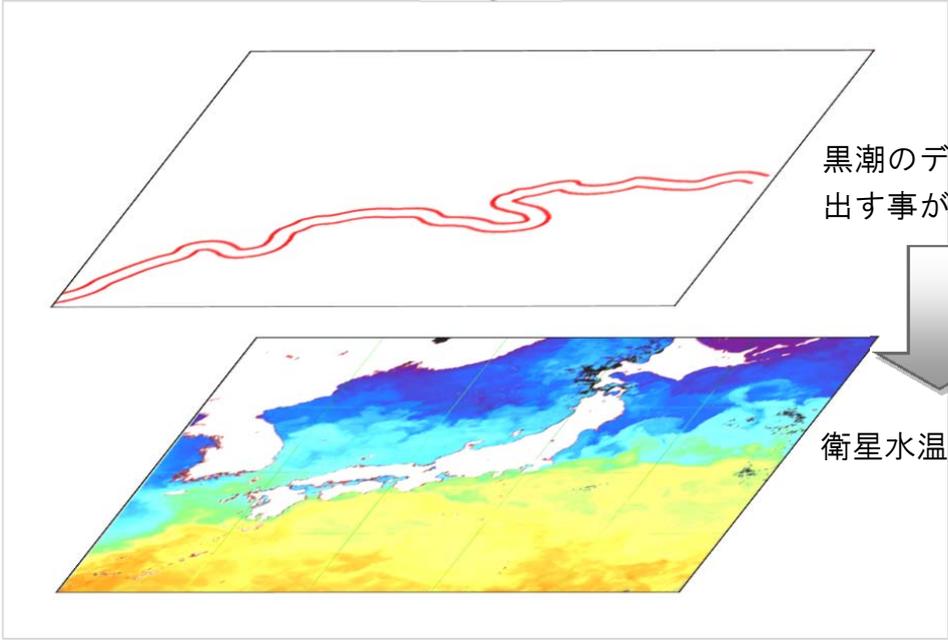


図2 衛星水温画像に黒潮を重畳

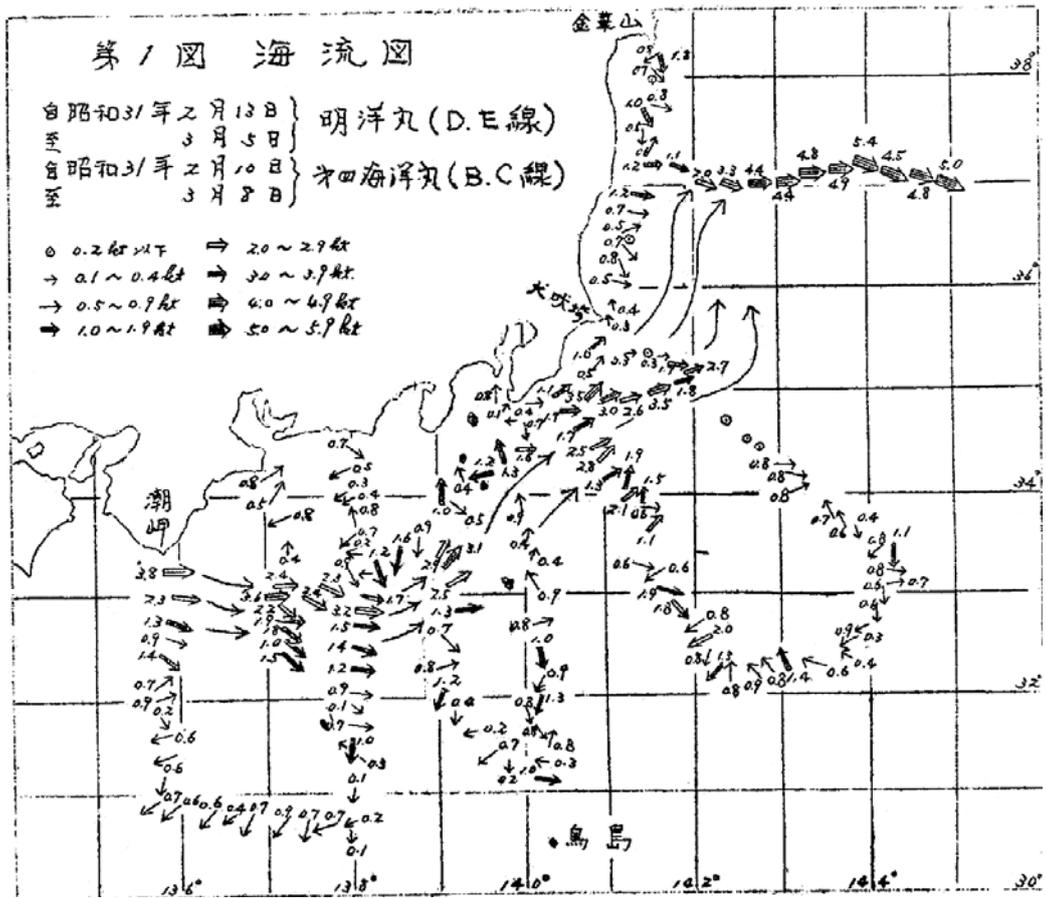


図3 海洋速報のバックナンバー (昭和31年第1号海流図)